

# 総合診療室（総診）を経験して

## 患者さんと接する中から学ぶこと

歯学部6年生 川崎 勝盛



総合診療部で先輩から患者さんを引き継ぎ、実際に患者さんを診療させて頂くようになってから、すでに半年以上の月日が経ちました。引継ぎをしていた頃は小雪がちらつくような寒い

時期でしたが、今では緑の映える、汗ばむ時期となり、月日の過ぎる速さを実感してしまいます。

引継ぎの直前は、ポリクリでの外来見学のあと、学生同士での歯周検査やレジン充填など、人を相手にした実際の処置を初めて経験をしたばかりで、それさえもあつかなびつくりしながらようやくできたような状態でした。そんな未熟な状態にも関わらず、本当に患者さんを相手に総合診療室で診療を行う事ができるだろうか、当初は不安で一杯でした。

また、先輩から患者さんを引継ぐ時期には、総合診療部の仕組みやエキスパートシステムの使用法など、極めて初歩的な所から分からない事ばかりで戸惑い、先輩方やライターの先生方、さらに患者さんに御迷惑をおかけしてしまうことが何度もありました。

総合診療部の患者さんは、私たちの至らなさから時間がかかり、必要以上にお待たせして大変御迷惑をおかけしてしまうような時でも、優しく寛容に私たちの診療を受けて下さいます。また、診療が終わってから、私たちが「お大事にどうぞ」と挨拶をすると、「ありがとうございます」と返事を返してくださいます。こんな時は、むしろ私たちの方が「長時間、自分達の至らない診療にお付き合い頂きありがとうございました」と頭を下げたくなる思いで一杯になってしまいます。

総合診療部での診療は、インストラクターの先生の監督下で行いますが、私は、むやみやたらに先生に甘えず、最低限、自分でできることは自分でしっかりと行うことが、自分の力になると思っています。その上で、自分が至らなかった点を諸先生方に御指導して頂くことにより、さらに深い知識と正しい手技を習得できると考えています。こうして毎日の診療から一つ一つ確実に、より良い診療技術を習得していくことは、御迷惑をおかけしている患者さんへの恩返しにつながるのではないかと、私は思っています。

また、診療から得られる知識や手技以上に、この臨床実習からしか得られない最も重要なものは、患者さんへの接し方です。私たちは、5年生までは歯学部という狭い社会の中で生活してきたため、患者さんに対する接し方など経験したことも無く、将来、患者さんとうまくコミュニケーションがとれるものなのかどうか、不安に思っていました。ですが、現在、総合診療室で実際に患者さんに接して、診療に関連した話から、たわいもない世間話まで、様々な会話することは、これまでの他のいかなる実習からも得ることができなかった、大変貴重な機会だと自分は考えています。

総合診療部で実際に患者さんを担当させて頂き、すでに半年以上経とうとしていますが、まだまだ学習し習得すべき技術や、反省すべき点も枚挙に暇がありません。残り半年の総合診療部における貴重な時間を無駄にしないよう、一回一回の診療を、確実に貴重な勉強の場にしたいと思えます。こうして得られた知識や技術を、将来自分が歯科医師になった時に生かして、ご迷惑をおかけした総合診療部の患者さんへの恩返しをしたいと思えます。

最後に、至らない私たちにこのような貴重な診療の機会を与えて下さる諸先生方および患者さんたちに感謝するとともに、今後、より多くの患者さんに、これまで大学で学んだ知識、技術および

経験を反映できるようにがんばっていきたいと思います。

## 総合診療室での臨床実習を経験して

歯学部6年生 宮田 薫



今この文章を書いているのが7月です。昨年の12月から総合診療室で患者さんを担当させていただくようになり、半年が過ぎました。最近ようやく総合診療室の雰囲気慣れてきたところ

で、もう折り返し地点を過ぎたとは信じられない気分です。この半年間は毎日が初めてのことばかりで緊張、反省の連続でしたが、その分学ぶ事も多く、とても充実していました。本当にあっという間に時間が過ぎてしまったように感じます。

5年生までは教科書での勉強や模型実習が主体でしたが、総診では学生一人大体10人の患者さんを担当させていただけます。1回の診療に午前中、午後中いっぱいかかり、患者さんに負担をかける

ことも多いのですが、患者さんは寛容に見て下さいます。また、診療が終わった後、今日はうまくできたわねとか、どんどんうまくなっているわなどと励ましてくれる患者さんもいます。歯科医は対人間の職業であるので、いろいろな患者さんとのコミュニケーションはとても勉強にもなります。医療面接の講義が臨床実習前にありましたが、実際の患者さんと話す中、確認、実践することで理解が深まりました。また、単純に世代の違う患者さんとの会話は新鮮で楽しくもあります。

総診では一年通して一人の患者さんの診療に携わり、治療計画を立てたりするのですが、その際、各専門科の先生がよく見て下さいます。先生方は生徒の自主性を尊重して下さい、最初からこの治療はこのように行っていきなさいというのではなく、私たちが考えてきたことをきいたうえでアドバイスして下さい。全国の歯学部、歯科大で臨床実習を行わない学校もある中、このように学生が自主性をもって実際の患者さんを見させていただけるのは本当に恵まれた環境だと思い、とても感謝しています。この貴重な経験を大切にこれからも頑張っていきたいと思います。

